

事務事業チェックシート

事務事業No 508 事業名 公共下水道（污水）整備事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	3	豊かな暮らしを支える住環境の整備
施策	4	生活排水対策の推進
取組方針	1	公共下水道（污水）の整備推進

事業種別	継続		
事業期間	S46	～	H50
事業実施の根拠法令	下水道法、都市計画法		
関連個別計画	和歌山市都市計画下水道（公共下水道）		
担当課・担当課長・Tel	下水道企画課	建島 克佳	435-1093
関連課	下水道施設課、下水道建設課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	下水道事業特別会計		
	款	下水道事業費		
	項	下水道建設費		
	目	下水道建設費		
	大事業	下水道建設事業		
中事業	公共下水道（污水）整備事業（補助・単独）			

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）		全体事業概要			
	公共下水道区域（主に市街化区域内）において、公共下水道施設（污水管渠・終末処理場・中継ポンプ場等）を整備し、生産・生活活動によって発生する汚水を収集・集合処理することにより、衛生的な生活環境づくりを実現し、公共用水域の水質を保全する。		公共下水道管渠（污水）の埋設・改築 公共下水道施設（終末処理場、中継ポンプ場）の設置・増設・改築			
事業内容		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
		污水管渠整備延長約9.2km 中央処理区 約3.9km 和歌川処理区 約0.5km 北部処理区 約4.8km 中央終末処理場 和歌川終末処理場 北部終末処理場	污水管渠整備延長約5.4km 中央処理区 約2.5km 和歌川処理区 約0.7km 北部処理区 約2.2km 中央終末処理場 和歌川終末処理場	污水管渠整備延長約6.2km 中央処理区 約2.5km 和歌川処理区 約0.2 km 北部処理区 約3.5km 和歌川終末処理場 海南汚水中継ポンプ場	污水管渠整備延長約6.7km 中央処理区 約2.8km 和歌川処理区 約 - km 北部処理区 約3.9km 和歌川終末処理場	污水管渠整備延長約9.0km 中央処理区 約2.4km 和歌川処理区 約 - km 北部処理区 約6.6km

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,990,697	1,794,673	2,020,619	1,925,202	1,593,668	1,795,132	1,419,758		1,419,578	
伸び率（%）	-	-	1.5%	7.3%	▲21.1%	▲6.8%	▲10.9%	▲100.0%	▲0.0%	-
人件費	正規職員	171,519	157,933	157,933	154,578	152,503	148,093	147,514	147,514	
	正規職員以外									
小計	171,519	157,933	157,933	154,578	152,503	148,093	147,514		147,514	
国庫支出金	524,000	522,000	493,374	611,150	348,750	459,600	309,300		309,300	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0		0	
市債	1,432,000	1,221,700	1,478,300	1,200,700	1,206,000	1,229,000	1,041,800		1,041,800	
その他	29,697	40,691	48,945	79,207	38,918	48,450	52,954		52,954	
一般財源（税等）	5,000	10,282	0	34,145	0	58,082	15,704		15,704	
所要人数（人）	正規職員	23.07	20.76	20.76	19.45	19.19	18.56	18.56	18.56	
	正規職員以外									
主な予算内訳	污水管渠整備工事 約1,118,000 調査設計委託 約138,206									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 公共下水道（污水）整備済面積（累計）	ha	目標値	2,728	2,763	2,783	2,808	2,833
		実績値	2,510	2,537	2,556		
		達成度（%）	92.0%	91.8%	91.8%		
活動指標 公共下水道（污水）整備面積（年度）	ha	目標値	35	35	20	25	25
		実績値	26	27	19		
		達成度（%）	74.3%	77.1%	95.0%		
成果指標 公共下水道（污水）整備率 整備済面積／全体計画区域面積（6,087ha）	%	目標値	44.8	45.4	45.7	46.1	46.5
		実績値	41.2	41.7	42		
		達成度（%）	92.0%	91.8%	91.8%		
成果指標 公共下水道（污水）整備率（単年度） 整備済面積／全体計画区域面積（6,087ha）	%	目標値	0.57	0.57	0.33	0.41	0.41
		実績値	0.43	0.44	0.31		
		達成度（%）	74.3%	77.1%	95.0%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>汚水整備については概ね計画通り進捗しているが、本市の汚水処理人口普及率は依然として全国平均値に比べて低く、また市民からの要望も増大していることから、今後も継続的な整備を進めていく必要があると考える。</p>
見直し・改善内容	<p>(汚水整備) 今後も目標達成に向けて、引き続き整備を進めていく。 (改築・更新) 下水道施設(管渠含む)の老朽化が進む中で、下水道施設全体を対象とし、その状態を点検・調査等によって客観的に把握、評価、長期的な施設の状態を予測しながら、点検・調査、修繕・改築を一体的に捉えて下水道施設を計画的かつ効率的に管理することを目的とした下水道ストックマネジメント計画を策定中です。 下水道事業の持続性を高めつつ、サービスの向上が期待でき、リスク評価・優先順位付けを行うことで事業費の平準化、削減が期待できる。</p>